

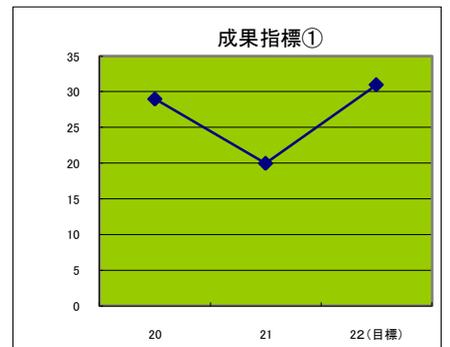
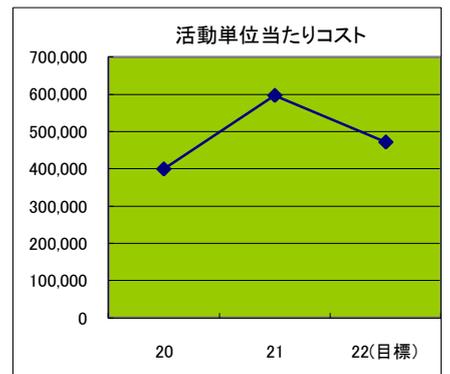
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

市人02

事務事業名		人権啓発・教育の推進に係る事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	3	民生費	
					項	1	社会福祉費	
					目	7	人権施策費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	事業	1	人権施策企画調整事務		
	施策(節)	1	平和意識・人権尊重	作成部署				市民人権部人権推進課
	施策の方向	(2)	人権教育・人権啓発の推進	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 1053
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)			関係する団体・行政機関・市民				
	意図(どういう状態にしたいのか)			未だに残る人権課題の解消に向けて、関係機関と連携・協力しながら人権啓発や教育に係る事業を継続する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・府人権協会が開催する研修会や学習会への参加 ・問題解決のための情報交換(大阪府内の各市町村・大阪人権行政推進協議会など) 							
	根拠法令等							日本国憲法・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律・羽曳野市人権条例
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 年開始 <input checked="" type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成	年度		
事業開始時からの状況変化		市民の人権意識は次第に高揚しつつあるが、未だ多くの問題は残っている。						
市民や議会の要望								
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容				

区分		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,896	1,470	1,645
人件費【2】 (千円)		4,500	4,500	3,075
職員数	正規職員	0.60 人	0.60 人	0.41 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		6,396	5,970	4,720
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	6,396	5,970	4,720
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 研修会・学習会の参加	回	16	10	10
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		399,750 円	597,000 円	472,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		53 円	50 円	40 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
① (式)	研修会等への参加者	人	関係する機関との研修会等にどれだけ参加したか	36	29	31	20	31	
						達成率(%)	64.5%		
② (式)									
						達成率(%)			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○		○		○		○			有	関連機関から直接市民には、情報や知識が伝達されにくいので、市が関与し、連携していく必要がある。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法令に基づき地方公共団体は、地域の実情を踏まえ人権教育・人権啓発に関する施策を策定し、実施する責務を有する。関係各団体においては、相互の情報交換等により常に新しい情報を把握しており、社会情勢の変化についても十分対応している。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	関係各団体から得られる情報や啓発手法などについては、非常に有用なものが多くあり、これらを利用して効率的に進めている。また、啓発については継続し続けることが重要であり、人員や事業費の削減は考えられない。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	憲法に保障される「基本的人権」をはじめ、さまざまな人権問題に有用である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	関係各団体との情報交換等に関しては、市民の参画や協力は該当しない。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の啓発や研修会への参加において、目標は概ね達成できている。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由 人権教育・人権啓発に関しては、法にも示されているように国・地方自治体はその責務を負い、推進していく必要がある。そのため、関連各機関と連携しながら継続して、効果的な事業展開が求められている。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 関連部局や外部関係機関だけでなく、自治体・行政並びに職員個人としてのスキルアップや各事業への取組みも不可欠である。よって、今後は、職員研修や関係研修会への職員等の参加を全庁的・全市的に推し進め、市民への人権教育・人権啓発施策の充実を図る。	

行審本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	